

第67回 中小企業景況調査

(令和2年10月～令和2年12月)

《 調査結果の要約 》

全業種業況DIは▲39.8ポイント（前期比10.2ポイント増）と回復傾向にある。業種別では、建設業と小売業（買回品）が低下傾向となっているが、製造業、小売業（最寄品）、飲食業、サービス業が軒並み回復傾向となっている。

業種別にみると、下記の通りである。

3ヵ月前と比べて好転 ↑ : 製造業、小売業（最寄品）、飲食業、サービス業

3ヵ月前と比べて悪化 ↓ : 建設業、小売業（買回品）

1. 全業種業況判断DIは、▲39.8%（前期比ポイ 10.2ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヵ月先は、▲57.4ポイントと再び大幅な低下見通しである。
2. 設備投資件数は21件（3ヵ月前と同レベル）となっており、その内訳はOA機器7件、機械設備8件、車両運搬具3件、建物等3件、その他0件となっている。
3. 経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）は、①需要の停滞35%（76社）が最も多く、②利用者ニーズの変化15%（32社）、③単価の低下・上昇難11%（24社）、④人件費以外の経費の増加9%（20社）、⑤人件費の増加6%（13社）が続いている。

<国内および神奈川県の中企業の景況トピックス>

・中企業の業況判断DIは、2期連続で上昇した。

- 1、2020年10-12月期の全産業の業況判断DIは、▲26.1（前期差8.0ポイント増）となり、2期連続して上昇した。
- 2、製造業の業況判断DIは、▲29.2（前期差11.6ポイント増）となり、2期連続して上昇した。業種別に見ると、化学、輸送用機械器具、電気・情報通信機械器具・電子部品、パルプ・紙・紙加工品など13業種で上昇し、家具・装備品で低下した。
- 3、非製造業の業況判断DIは、▲25.4（前期差6.7ポイント増）となり、2期連続して上昇した。産業別に見ると、卸売業、サービス業、小売業、建設業の全ての産業で上昇した。

・神奈川県中企業の総合業況DIは、前期比8.3ポイント上昇の▲54.3となった。経営状況では、売上DIは前期比13.4ポイント上昇の▲35.1、また、採算DIは同10.1ポイント上昇の▲35.7となった。今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比2.5ポイント低下の▲56.8、半年後は同0.5ポイント低下の▲54.8を見込んでいる。

※ 国内は独立行政法人中小企業基盤整備機構、神奈川県は公益財団法人神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋。

《 調査概要 》

1. 調査時点：令和3年1月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から151社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	14	22	29	37	33	151
回答数	13	9	15	21	24	26	108
回答率	81.3%	64.3%	68.2%	72.4%	64.9%	78.8%	71.5%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目：

(1) D I の状況について

① 自社の状況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数

(2) 設備投資について

(3) 経営上の問題について

5. 調査データについて

(1) D I : Diffusion Index (ディフュージョンインデックス・景気動向指数) の略

各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

(2) データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

・四半期：1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」

・前期比：3ヵ月前との比較

・前年同期比：1年前との比較

< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

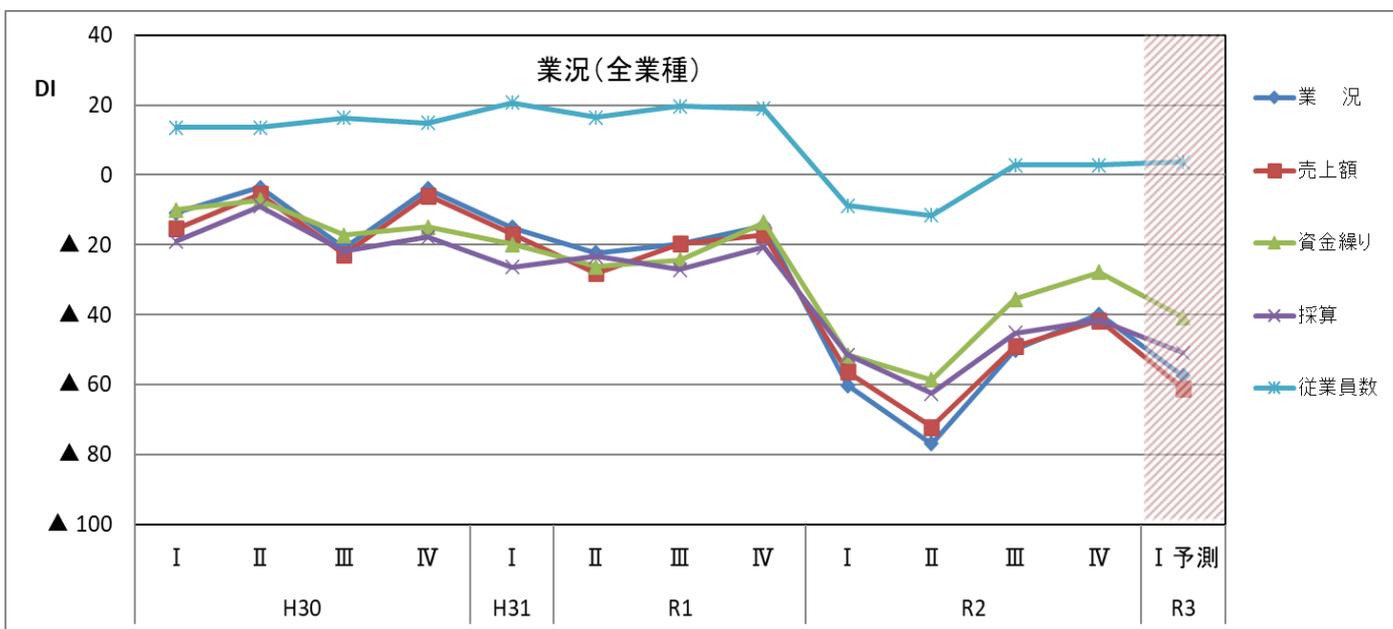
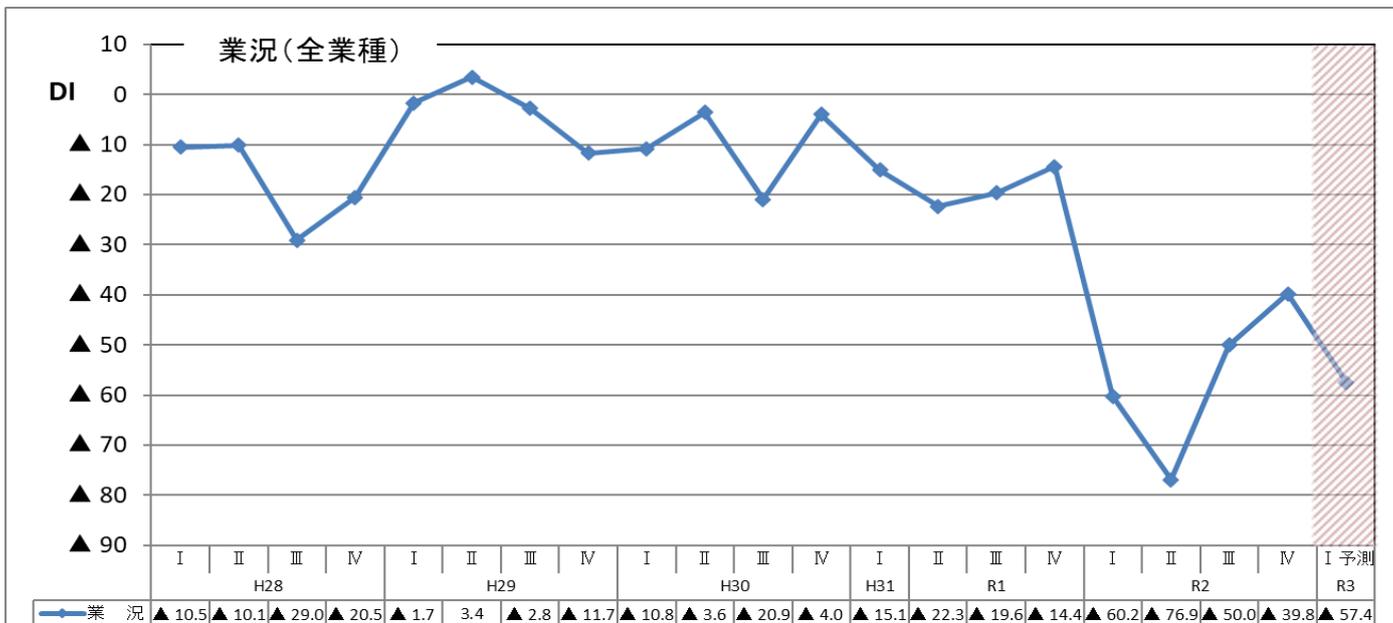
$$\begin{aligned} \text{D I} &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

《 調査結果 》

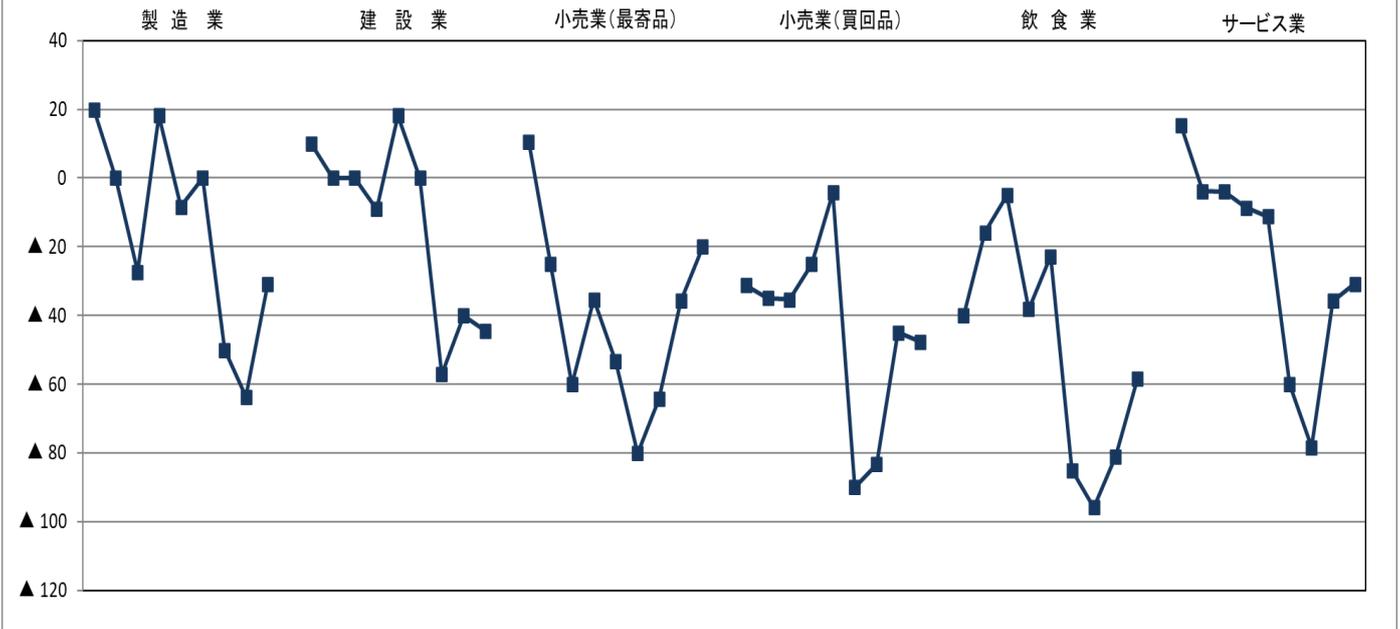
I. 全業種

□業況D I

- ・全業種の業況判断D Iは、▲39.8%（前期比 10.2 ポイント増）と回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲57.4%と再び大幅な低下見通しである。
 - ・売上D Iは、▲41.7%（前期比 7.3 ポイント増）と回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲61.1%と再び大幅な低下見通しである。
 - ・資金繰りD Iは、▲27.8%（前期比 7.8 ポイント増）と回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲40.7%と再び大幅な低下見通しである。
 - ・採算D Iは、▲41.7%（前期比 3.5 ポイント増）と回復傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲50.9%と再び大幅な低下見通しである。
 - ・従業員数D Iは、+2.8%（前期比 0.1 ポイント減）とやや人手不足が進んでいるが、3ヶ月先は、+3.7%と更に人手不足が進む見通しである。
- ・業種別の業況判断D Iは、建設業と小売業（買回品）が低下傾向となっているが、製造業、小売業（最寄品）、飲食業、サービス業は軒並み回復傾向となっている。



業種別 業況判断DIの推移(H30年 10-12 月期～R2年 10-12 月期)



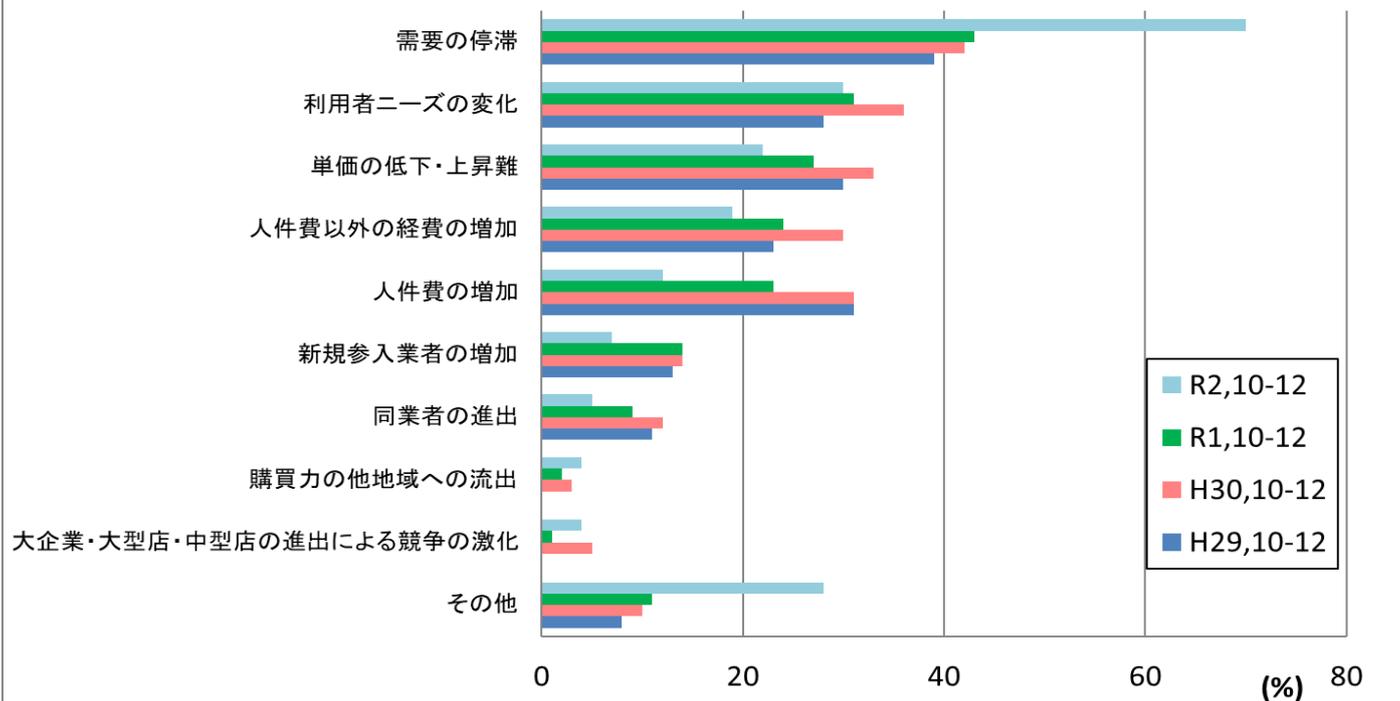
□設備投資の動向

- ・投資件数は 21 件（3 カ月前と同レベル）となっており、その内訳は OA 機器 7 件、機械設備 8 件、車両運搬具 3 件、建物等 3 件、その他 0 件となっている。

□経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）

- ・経営上の問題点は、①需要の停滞 35%（76 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 15%（32 社）、③単価の低下・上昇難 11%（24 社）、④人件費以外の経費の増加 9%（20 社）、⑤人件費の増加 6%（13 社）が続いている。

経営上の問題点（回答社数に対する比率）

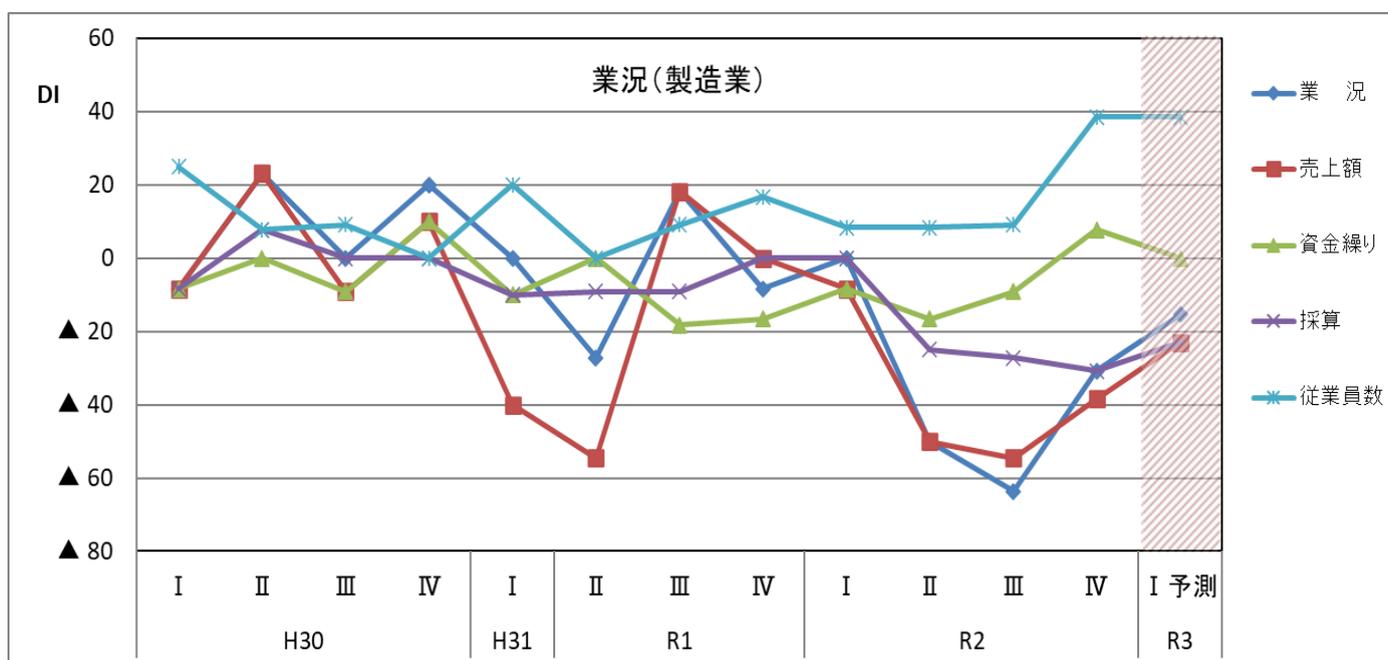


II. 業種別

1、製造業

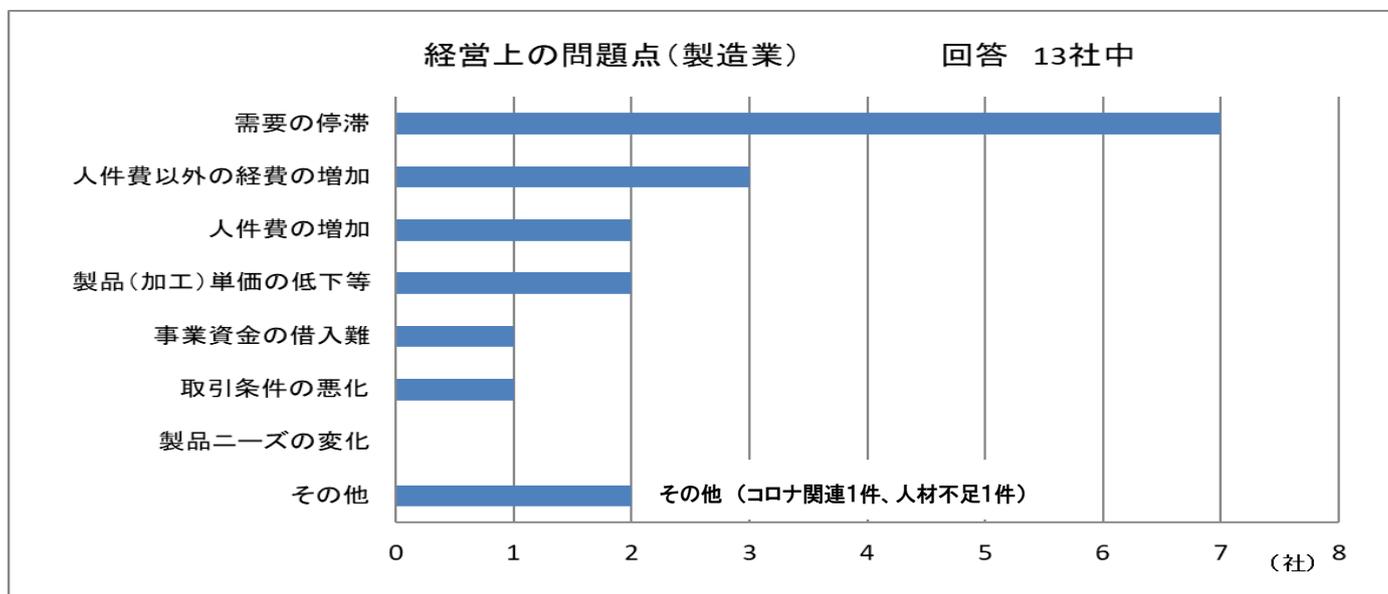
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲30.8%（前期比 32.8 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲15.4%と更に回復見通しである。
- ・売上D Iは、▲38.5%（前期比ポイ 16.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲23.1%と更に回復見通しである。
- ・資金繰りD Iは、+7.7%（前期比 16.8 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、±0.0%とやや低下見通しである。
- ・採算D Iは、▲30.8%（前期比 3.5 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲23.1%とやや回復見通しである。
- ・従業員数D Iは、+38.5%（前期比 29.4 ポイント増）で人手不足となっているが、3ヶ月先は、+38.5%と人手不足は横ばい見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器等 4 件、機械設備 1 件、車両運搬具 1 件となっている。

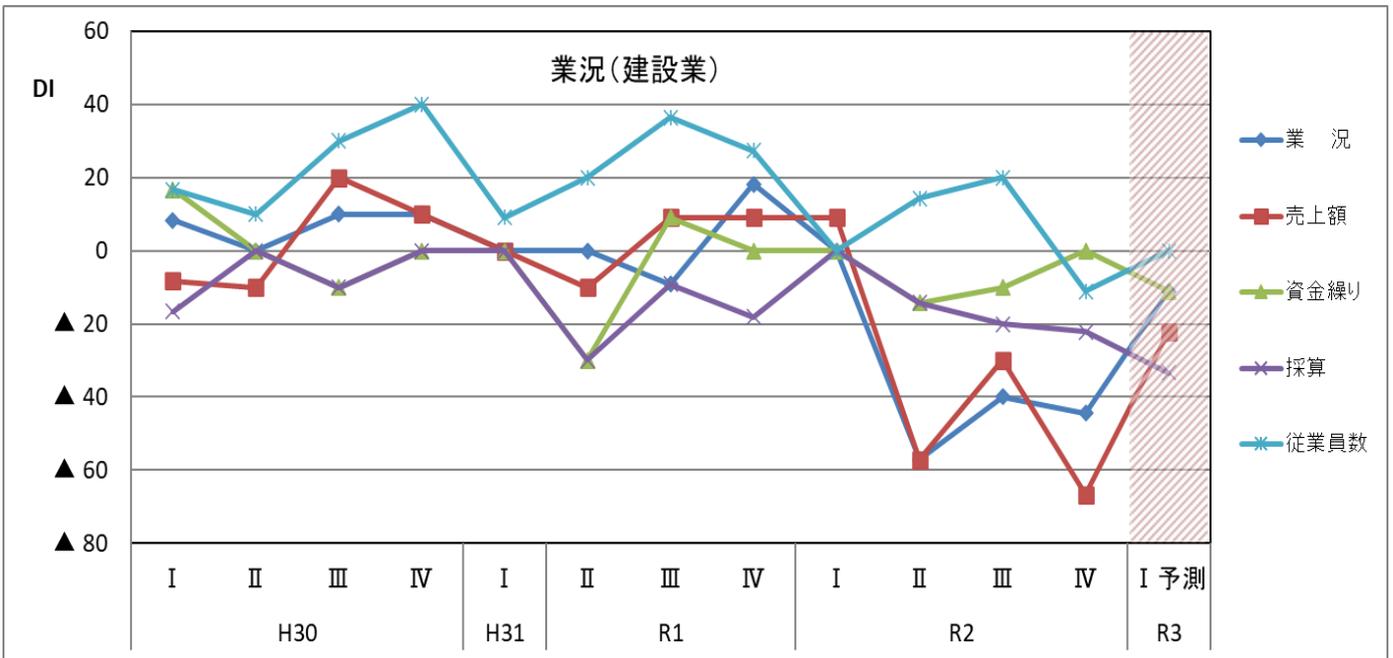
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



2、建設業

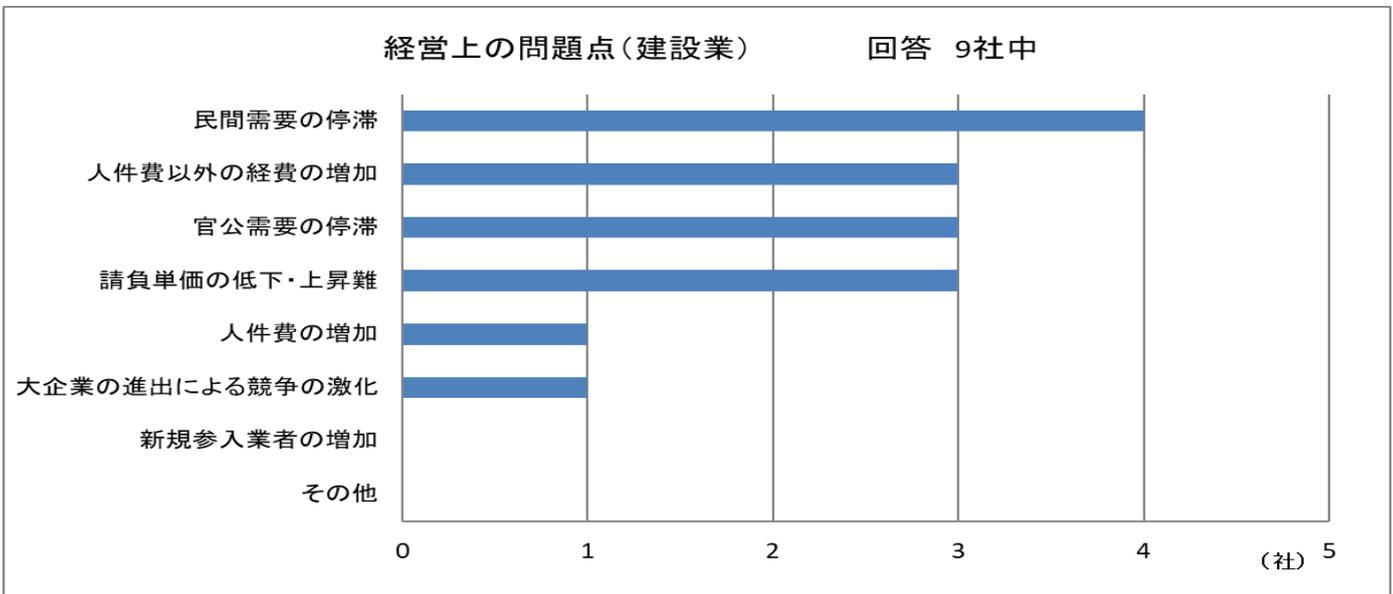
□業況D I

- ・景況判断D Iは、▲44.4%（前期比 4.4 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲11.1%と大幅な回復見通しである。
- ・売上D Iは、▲66.7%（前期比 36.7 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲22.2%と大幅な回復見通しである。
- ・資金繰りD Iは、±0.0%（前期比 10.0 ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲11.1%と再び低下見通しである。
- ・採算D Iは、▲22.2%（前期比 2.2 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲33.3%と更に低下見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲11.1%（前期比 31.1 ポイント減）で人手過剰となっているが3ヶ月先は、±0.0%と人手過剰と人手不足は均衡する見通しである。



□設備投資の動向 車両運搬具 1 件となっている。

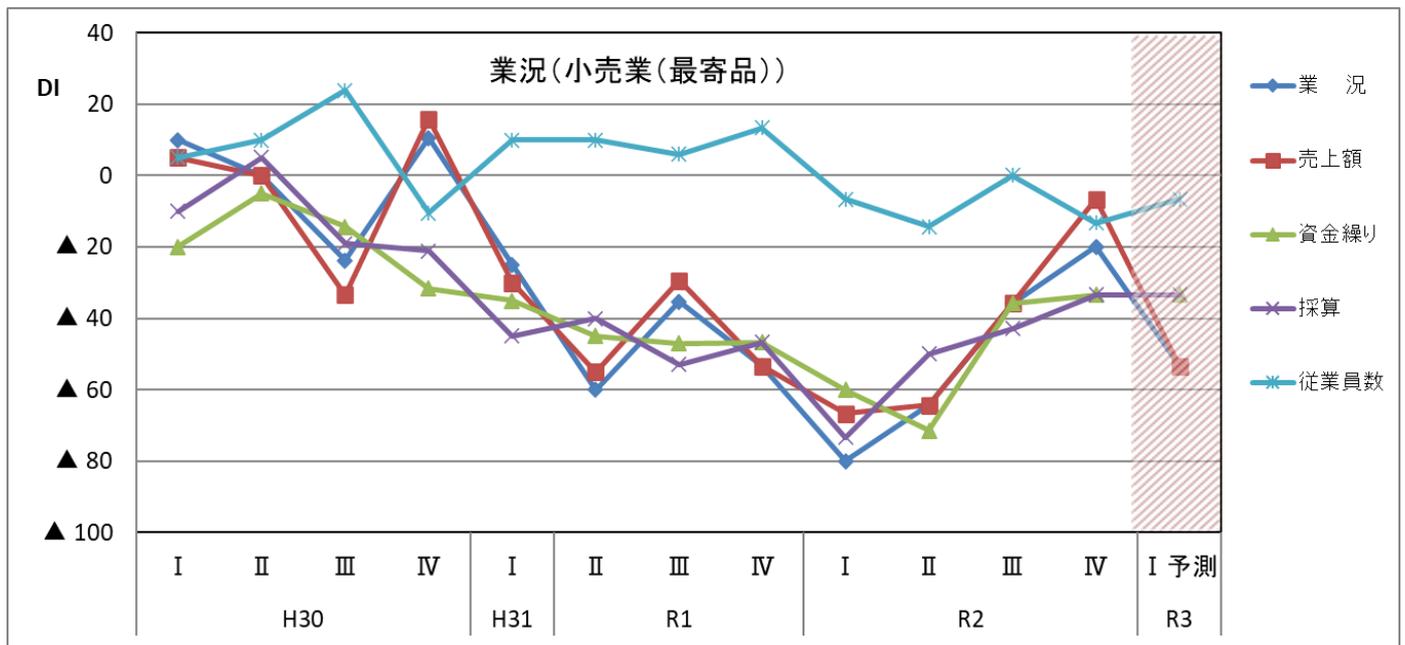
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



3. 小売業（最寄品）

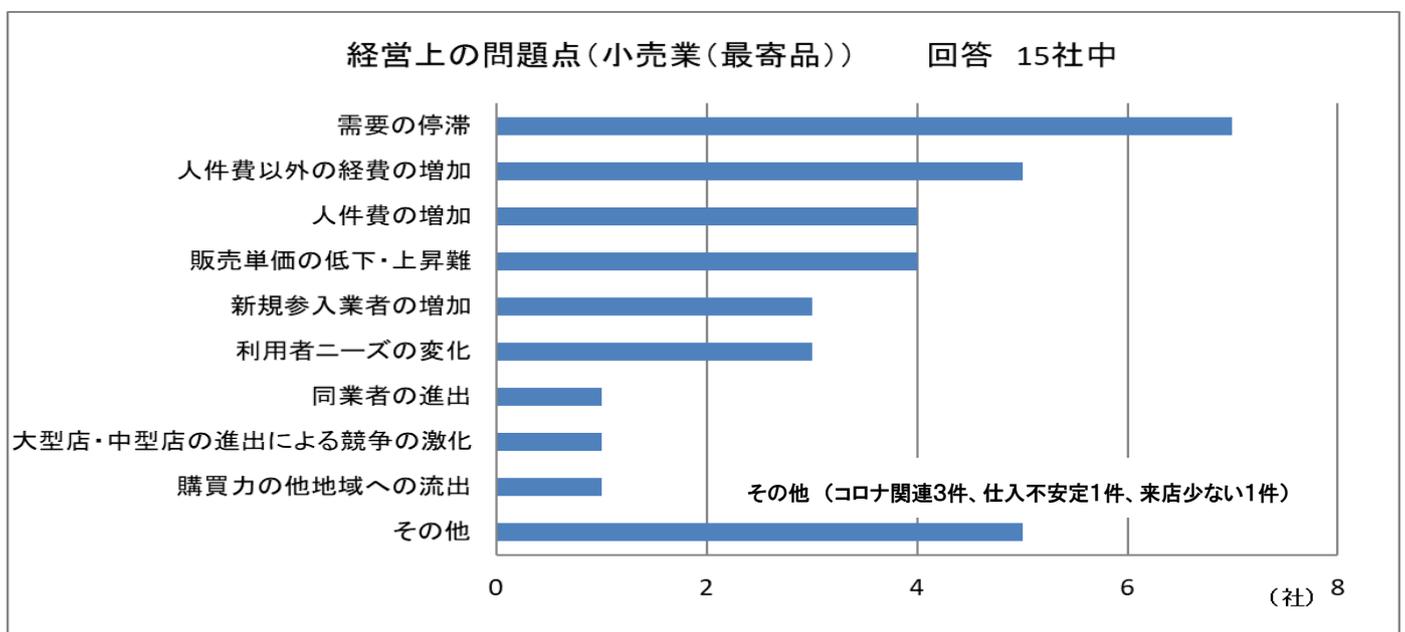
□業況D I

- ・景況判断D Iは、▲20.0%（前期比 15.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲53.3%と再び大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、▲6.7%（前期比ポイ 29.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲53.3%と再び大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲33.3%（前期比 2.4 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲33.3%と横ばいの見通しである。
- ・採算D Iは、▲33.3%（前期比 9.6 ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲33.3%と横ばいの見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲13.3%（前期比 13.3 ポイント減）と人手過剰となっているが、3ヶ月先も、▲6.7%とやや人手過剰の見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器 1 件、機械設備 2 件となっている。

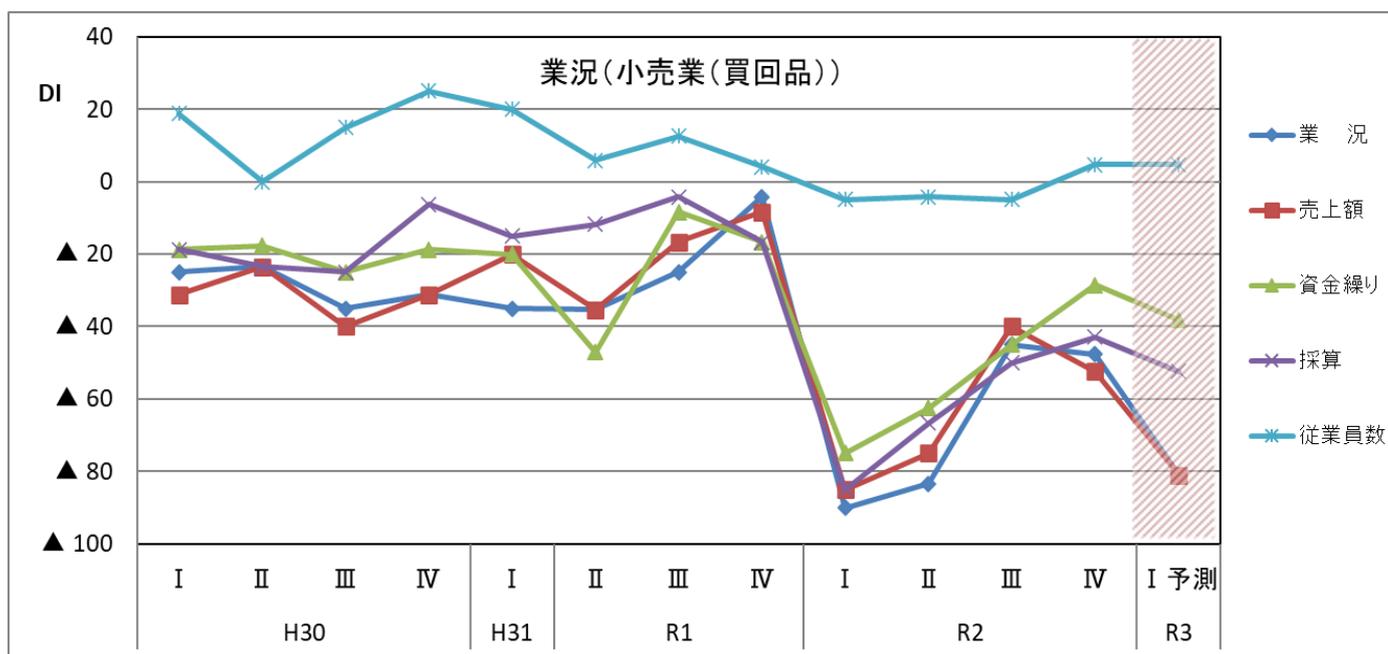
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



4、小売業（買回品）

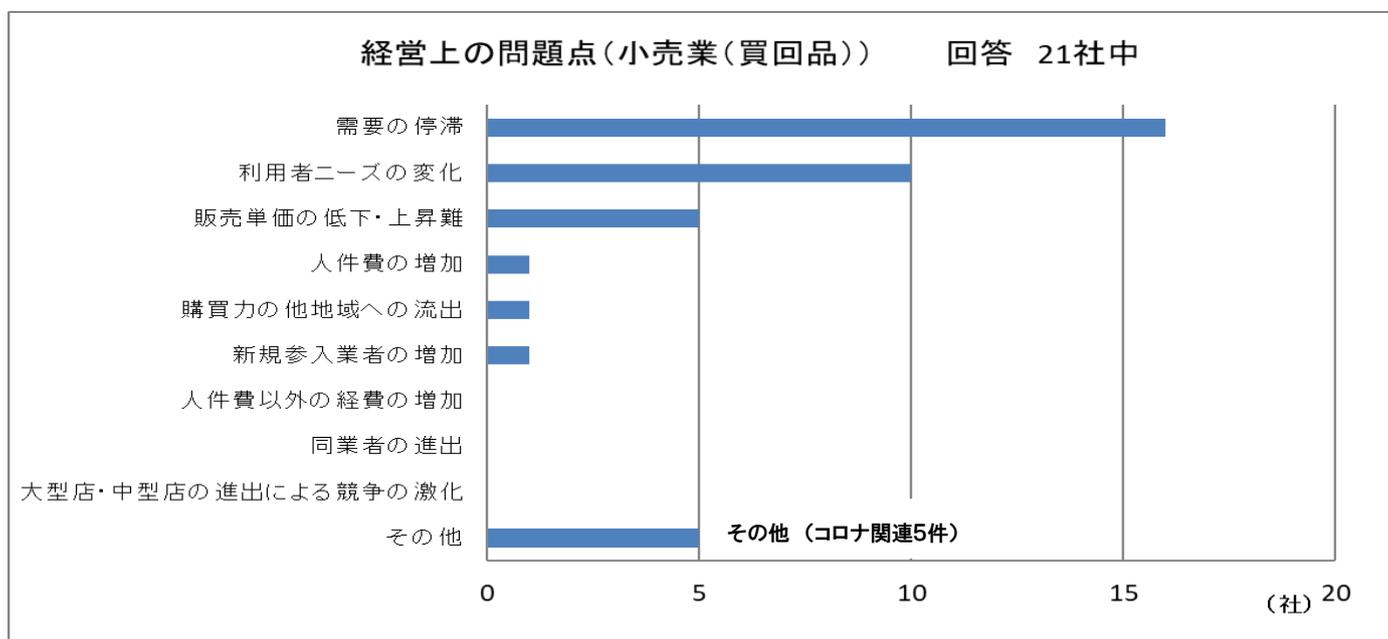
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲47.6%（前期比 2.6 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲81.0%と更に大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、▲52.4%（前期比 12.4 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲81.0%と更に大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲28.6%（前期比 16.4 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲38.1%と再び大幅な低下見通しである。
- ・採算D Iは、▲42.9%（前期比 7.1 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲52.4%と再び低下見通しである。
- ・従業員数D Iは、+4.8%（前期比 9.8 ポイント増）で人手不足が進みつつあるが、3ヶ月先は、+4.8%と人手不足は横ばい見通しである。



□設備投資の動向 車両運搬具 1 件、建物等 1 件となっている。

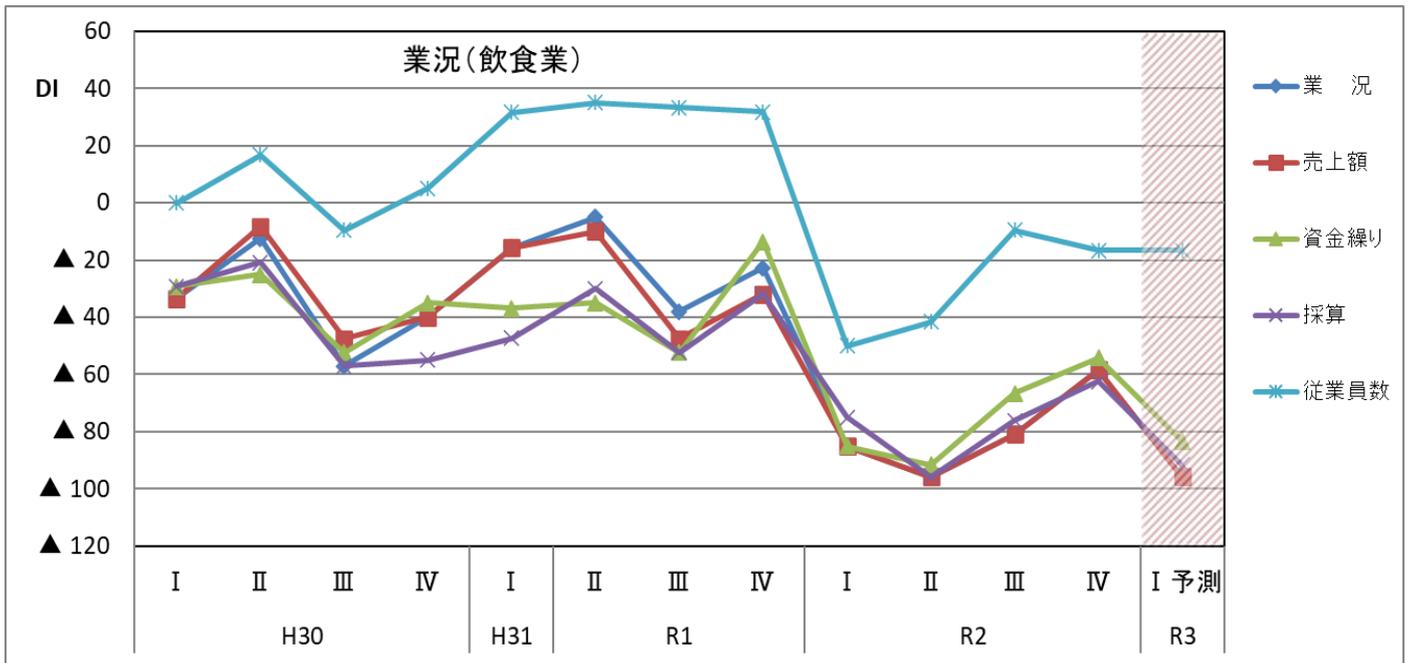
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



5、飲食業

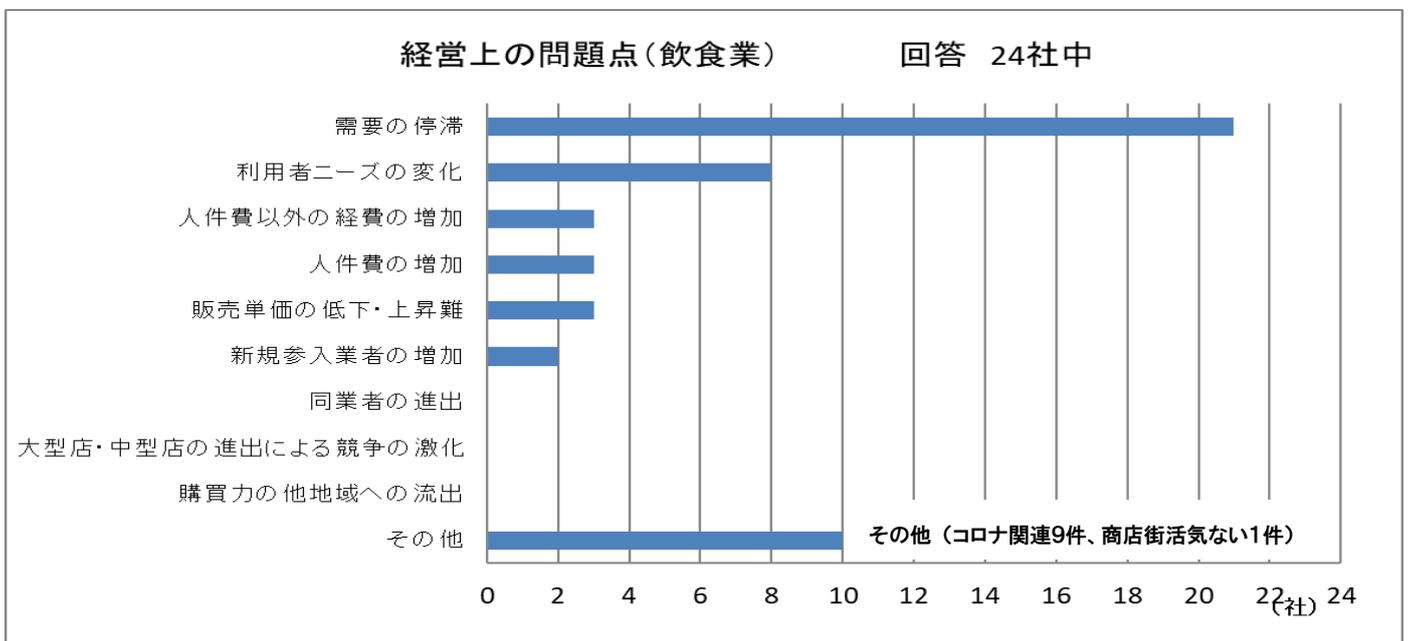
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲58.3%（前期比 22.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲95.8%と再び大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、▲58.3%（前期比 22.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲95.8%と再び大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲54.2%（前期比 12.5 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲83.3%と再び大幅な低下見通しである。
- ・採算D Iは、▲62.5%（前期比 13.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲91.7%と再び大幅な低下見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲16.7%（前期比 7.2 ポイント減）と人手過剰となりつつあるが、3ヶ月先も、▲16.7%と人手過剰が横ばいの見通しである



□設備投資の動向 機械設備 4 件、建物等 1 件となっている。

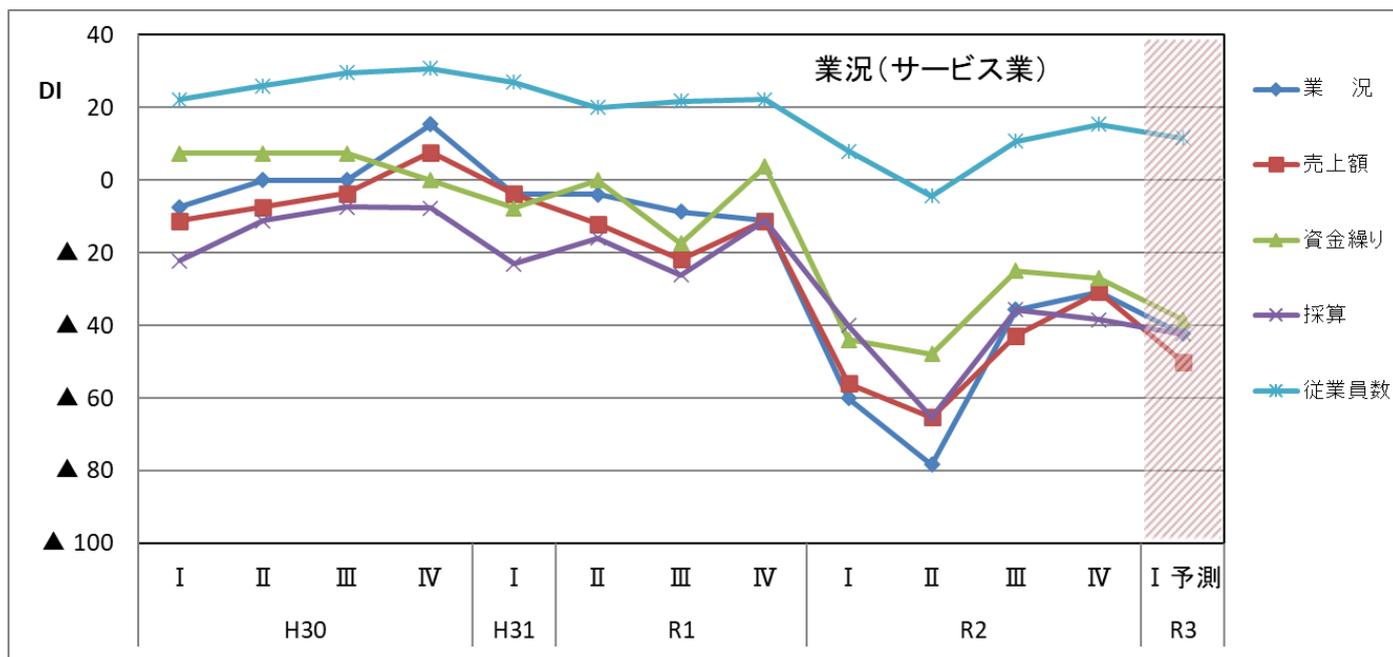
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



6、サービス業

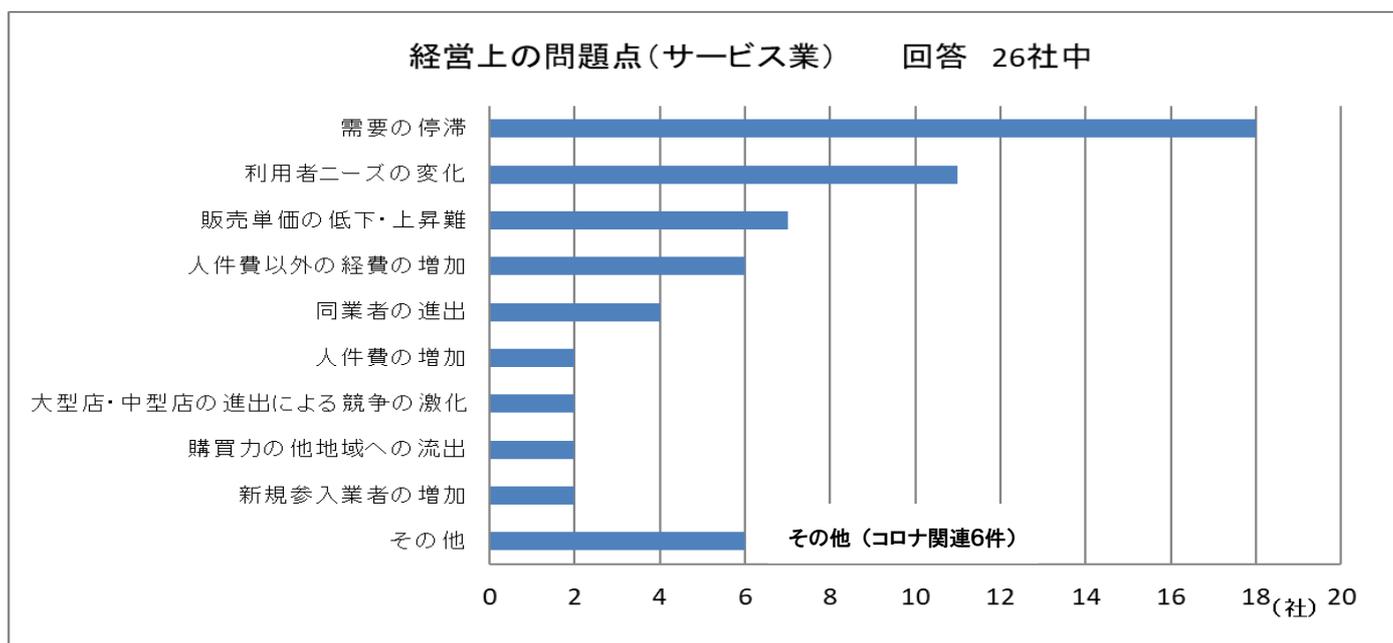
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲30.8%（前期比 4.9 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲42.3%と再び大幅な低下見通しである。
- ・売上D Iは、▲30.8%（前期比 12.1 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲50.0%と再び大幅な低下見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲26.9%（前期比 1.9 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先も、▲38.5%と更に大幅な低下見通しである。
- ・採算D Iは、▲38.5%（前期比 2.8 ポイント減）とやや低下傾向にあるが、3ヶ月先も、▲42.3%と更に低下見通しである。
- ・従業員数D Iは、+15.4%（前期比 4.7 ポイント増）と人手不足となっているが、3ヶ月先も、+11.5%と人手不足が続く見通しである。

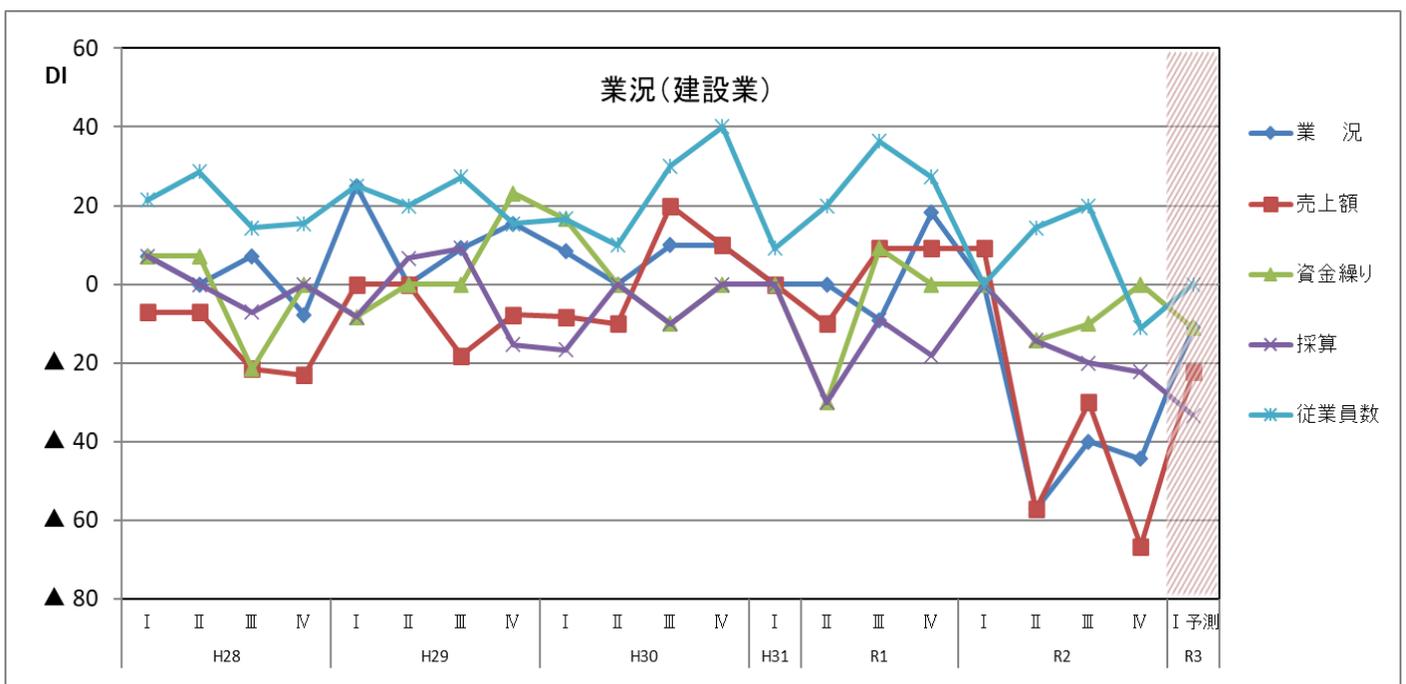
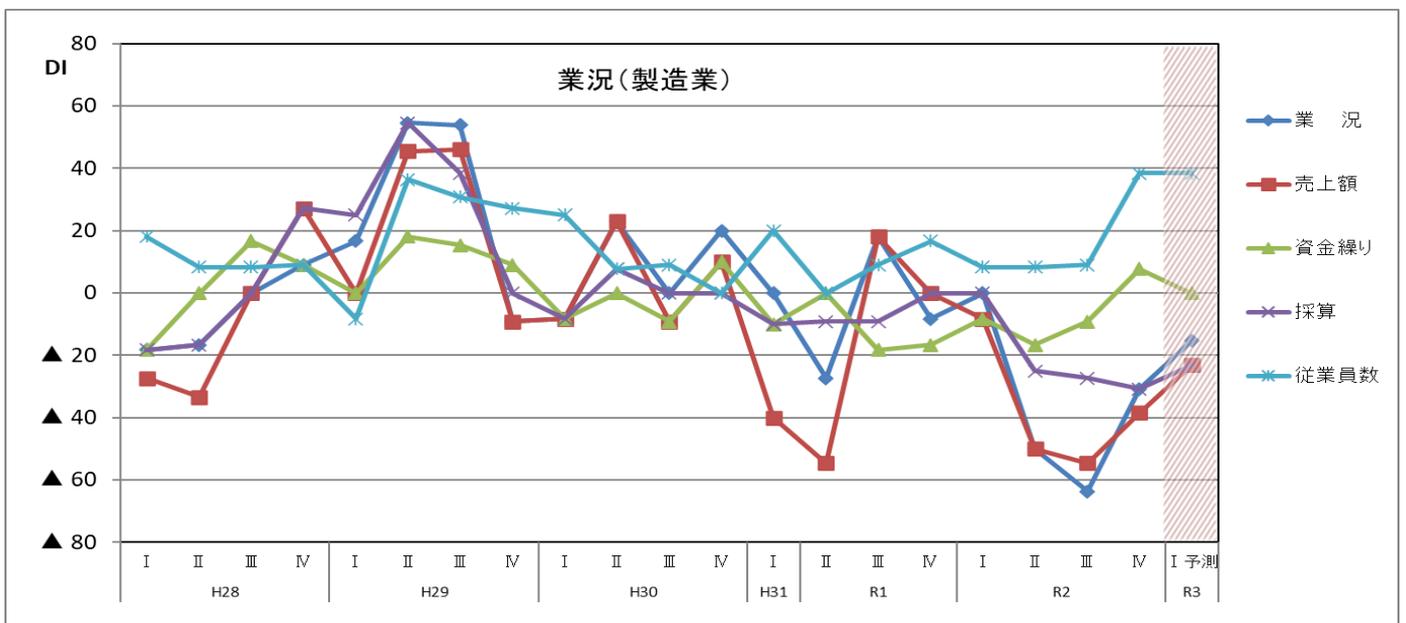
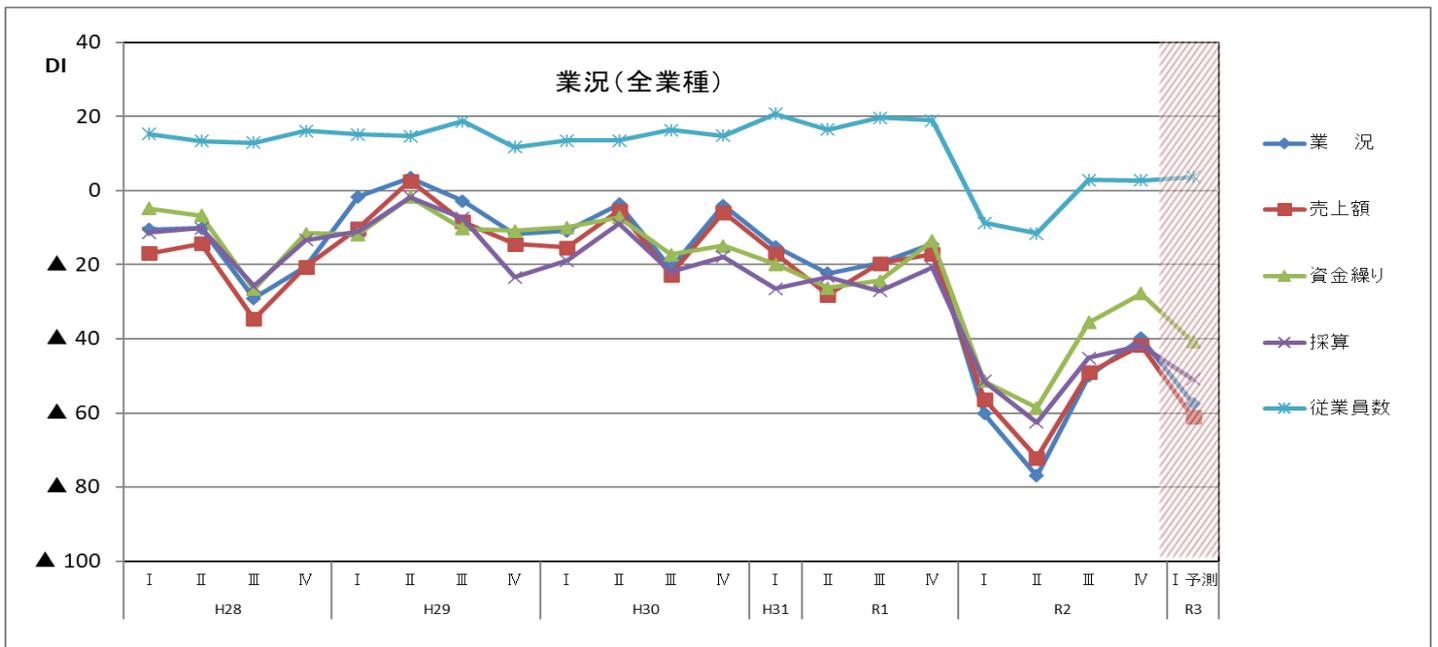


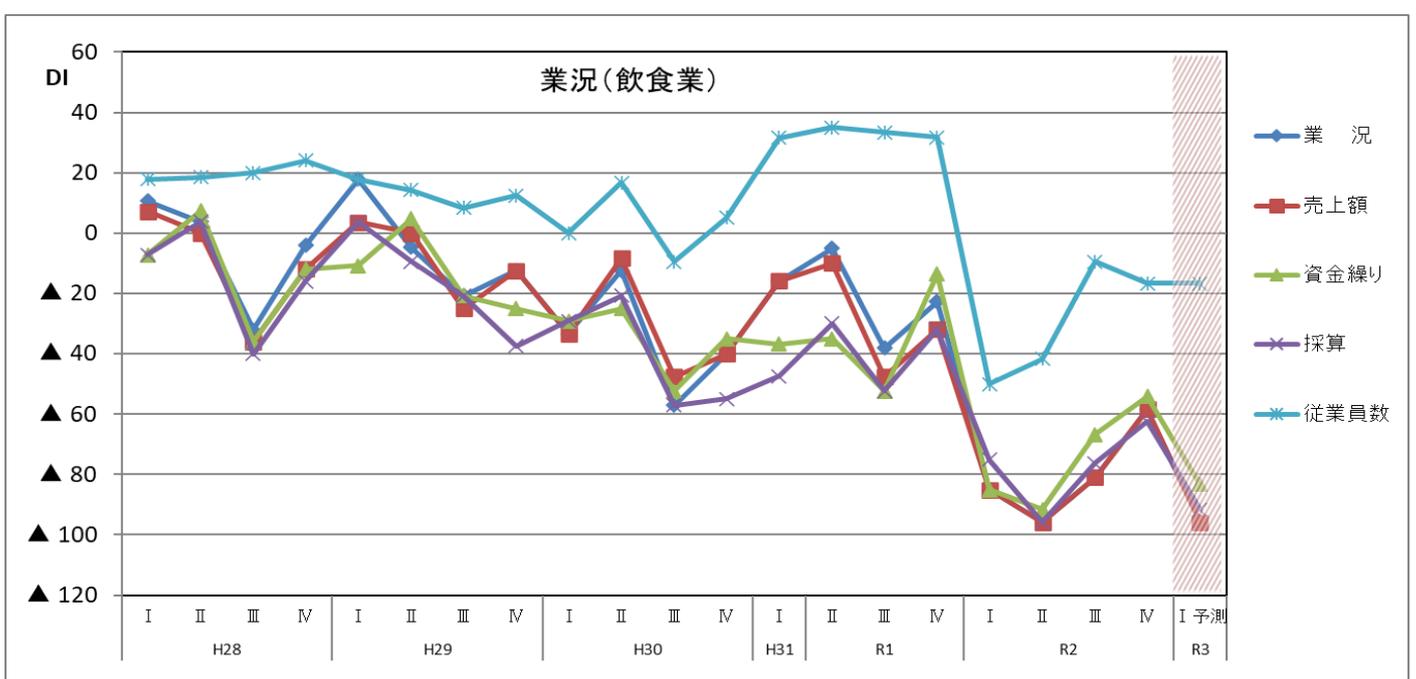
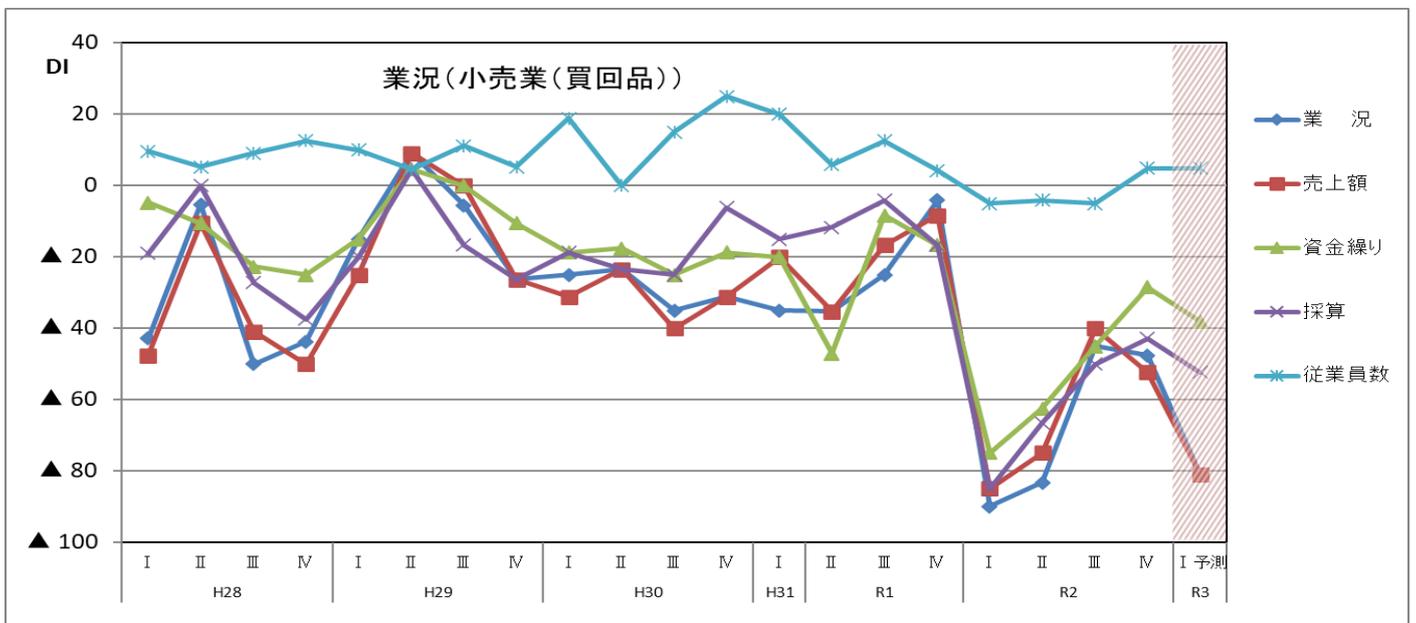
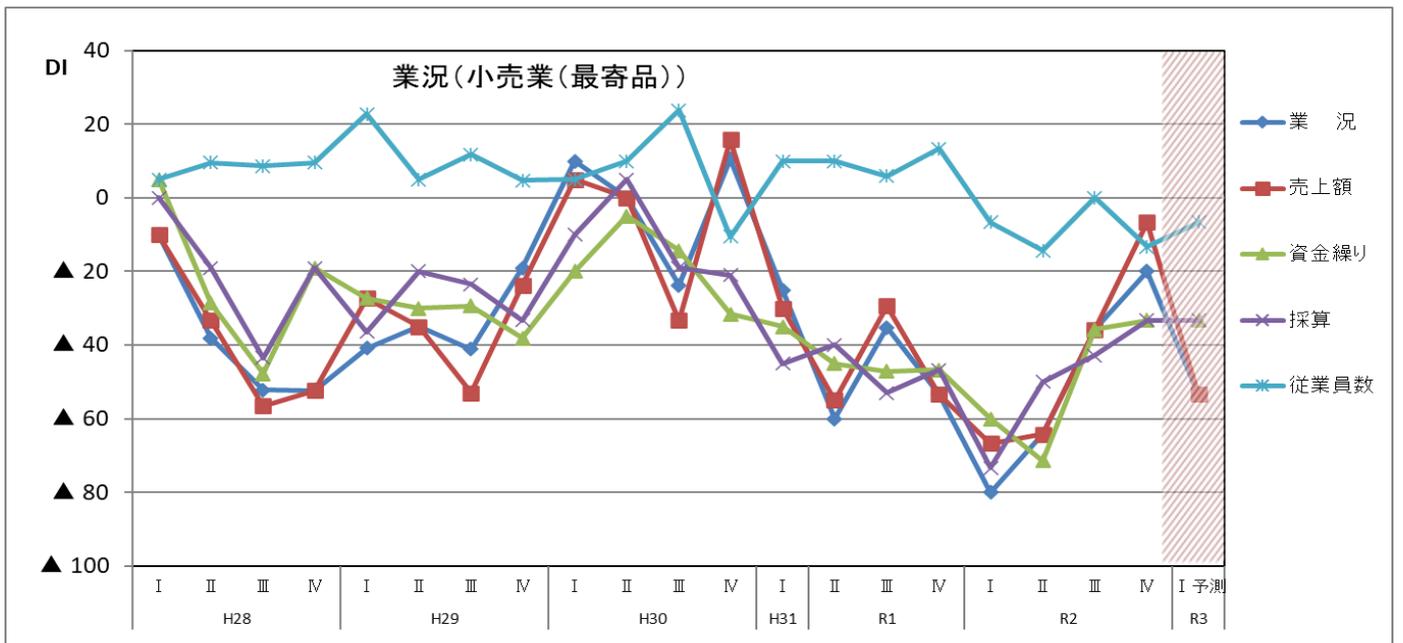
□設備投資の動向 OA 機器等 2 件、機械設備 1 件、建物等 1 件となっている。

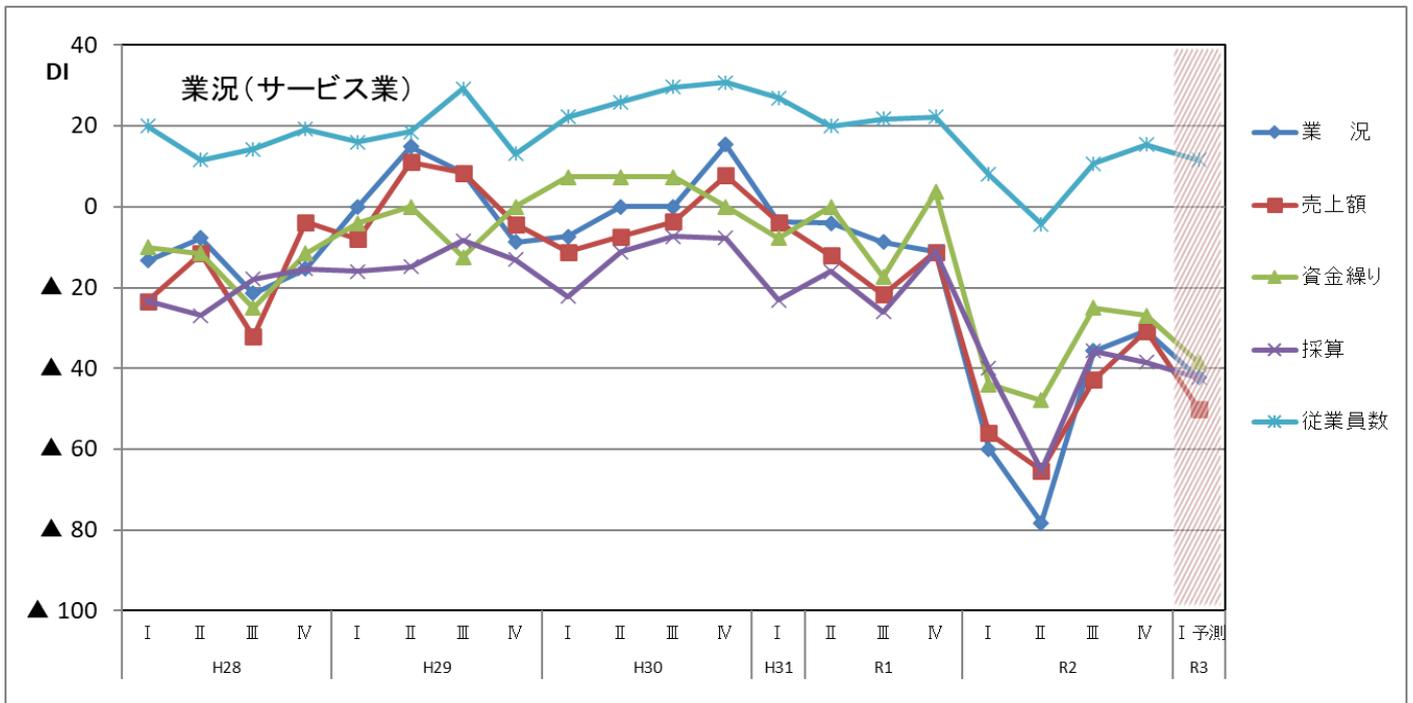
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



《資料》5年分の推移







□設備投資

全業種	H28				H29				H30				H31		R1		R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I(予測)												
OA機器	9	12	6	9	6	11	3	6	6	9	5	5	6	6	9	8	3	6	6	7	3
機械設備	3	4	6	6	6	6	8	6	5	6	11	10	4	3	4	6	3	2	5	8	4
車輛運搬具	7	5	8	5	1	6	5	5	1	3	3	5	4	4	5	5	3	3	2	3	2
建物	3	4	5	5	4	4	5	5	3	6	1	5	4	8	5	5	3	2	6	3	4
その他	2	4	2	0	0	4	1	3	1	0	0	3	4	3	2	1	0	0	2	0	1

製造業	H28				H29				H30				H31		R1		R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I(予測)												
OA機器	0	1	2	2	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	3	1	1	2	4	2
機械設備	1	1	0	2	0	1	2	1	2	0	2	3	2	2	1	0	1	0	1	1	2
車輛運搬具	2	0	2	1	0	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0	2	1	0	1	1	0
建物	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
その他	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

建設業	H28				H29				H30				H31		R1		R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I(予測)												
OA機器	2	0	0	2	1	2	0	1	2	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0
機械設備	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
車輛運搬具	0	2	3	2	1	2	1	1	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	1	0
建物	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

小売業 (最寄品)	H28				H29				H30				H31 R1				R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I予測
OA機器	0	3	1	2	1	3	0	2	2	3	1	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0
機械設備	0	1	4	0	2	0	2	2	0	3	2	1	1	0	1	3	0	1	0	2	1
車輛運搬具	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
建物	1	2	2	1	2	1	0	2	1	1	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

小売業 (買回品)	H28				H29				H30				H31 R1				R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I予測
OA機器	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	1	2	0	0
機械設備	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
車輛運搬具	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
建物	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1

飲食業	H28				H29				H30				H31 R1				R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I予測
OA機器	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械設備	1	0	1	3	2	5	3	2	2	1	2	4	0	0	0	2	1	1	3	4	1
車輛運搬具	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
建物	0	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	1	0	1	0
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0

サービス業	H28				H29				H30				H31 R1				R2				R3
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I予測
OA機器	4	6	2	3	1	4	2	3	1	3	2	5	0	3	3	2	0	3	2	2	1
機械設備	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0
車輛運搬具	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	1	2	2	1	1	1	2	2	1	0	0
建物	2	1	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	1	6	6	3	1	0	4	1	1
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0